

2021夏 貴重な体験をしたスーパーキッズにインタビューを行いました！！



全国中学校体育大会にて

スーパーキッズ10期生

たかはし みづき さん
高橋 美月 さん

盛岡市立城西中学校3年生



オリンピック開会式舞台裏

☆TOKYO2020 オリンピック開会式出演☆

Q オリンピック開会式出演依頼のお話があったとき、どんな気持ちでしたか。

—自分の目で大舞台の景色を見たい。

コロナのこともあり、参加するかをギリギリまで悩みましたが、「一生に一度の思い出になることは間違いない、そして何よりも、自分の目で大舞台の景色を見たい」と強く思いました。

また、私たちが最終聖火ランナーにトーチキスする役目だと知らされたのは、7月20日の本番3日前でした。橋本聖子会長からお話をいただき、あまりに突然の大役任命と偉大な方の登場に、とても驚いたと同時に大成功させたいという気持ちになりました。

Q 心に残ったことを教えてください。

—スポーツ界のレジェンドに興奮した。

橋本会長からユニホームをいただいた後、約4時間のリハーサルをし、私達6人がある程度の流れや立ち位置を覚えた後、少し遅れて本番一緒に聖火を運ぶ吉田沙保里選手、野村忠宏選手、プロ野球界のレジェンドである長嶋茂雄さん、王貞治さん、松井秀喜さんたちがぞくぞくと入場してきました。何も知らされていなかったため、興奮を抑えきれませんでした。

—開会式に出演するメンバー一人一人の表情は、とても明るく晴れやかだった。

21日の22時頃から深夜1時過ぎまで、開会式の全体通しリハーサルがあり、私たちは観客席から見させていただきました。出演するメンバーの一人一人の表情がとても明るく晴れやかだったのが、印象的でした。

—本番の開会式は、何もかもが一生の思い出。

本番当日。入場30分前に最終聖火ランナーが大阪なおみ選手だと知り、ワクワクが止まりませんでした。たくさんのおまわりで囲まれ、日本代表選手の前を走り、無事に聖火を繋ぐことができました。あの光景を生で見ることができたこと、夢の舞台に出演できたこと、何もかもが一生の思い出になり、充実した日を過ごすことができました。

関わってくださった方々に深く感謝しています。



写真提供：全て本人ご家族

☆令和3年度全国中学校体育大会 第48回全日本中学校陸上競技選手権大会 ☆

走り高跳び 優勝 ～記録 1m69cm～

*男女の跳躍種目で県勢初の栄冠、陸上での優勝は11年ぶり

Q 全国大会で優勝した時の気持ちを教えてください。

—解放感。そして、支えてくれた人たちへの感謝。

プレッシャーからの解放感や、今まで支えてくれた人たちへの感謝の気持ちでいっぱいになりました。

Q 全国大会優勝までの道のりを教えてください。

—最初は、「県一位をとってみたい」という気持ち。

中学二年生から走高跳を始めました。最初は、「県で一位をとってみたい。」という気持ちしかありませんでした。けれど、一つ上の先輩が「日本一」という目標を掲げて誰よりも練習に励んでいる姿に憧れ、いつしか私も日本一になりたいと思うようになりました。

—「人間力」が一番大切になってくると考えた。やめたいと思った時は、皆の頑張りから勇気をもらった。

日本一という目標を叶えるためには、スーパーキッズで教わった「人間力」が一番大切になってくると考えました。日々の生活から見直していこうと、まずは基本的な挨拶から頑張りました。冬季期間には、岩手県選抜の練習会があり、県キャプテンに選んでいただきました。期待に応えられるよう一番の行動を常に心掛けて練習に取り組みました。大会で思うような結果が出ず、陸上をやめたいと何回も思いました。けれど、先輩やスーパーキッズの皆の頑張りから勇気をもらって立ち直り、この大会に挑むことができました。

—誰よりも練習してきたという自信があった。

本番はとても緊張しましたが、出場するメンバーの誰よりも一番練習してきたという自信がありました。そこで、自分に負けることなく一番高い景色を見ることができました。

Q オリンピック開会式出演や全中優勝の経験から、変わったことはありますか。

—アスリートスタンダードへの意識

スーパーキッズで学んできた「アスリートスタンダード」(①挨拶・返事②姿勢・意欲③身だしなみ)への意識が前より強くなりました。

Q これからの目標を教えてください。

—自己ベスト更新！！そして、インターハイ優勝！！

*7月の県選手権、10月の県秋季大会で、1m72cm を跳躍

今後は、今の自分に満足することなく、自己ベスト更新を目標にして一から頑張りなおしたいです。そして、通過点として、まずはインターハイで優勝したいです。

皆さんと同じスーパーキッズである美月さんがこの夏体験した貴重な体験、そして、それらから考えたこと等が、スーパーキッズの皆さんにも心に響くものがあると思います。ぜひ、今回感じたことや学んだことを今後の自身のスポーツ生活の中で生かして行ってほしいです。